

議会だより

ふたふた

第236号

9月定例会

8月臨時会



目次

- 平成29年度決算認定…… 2・3 P
- 各常任委員会の審査…… 4 P
- 議員別審議結果一覧表…… 5 P
- 意見書…… 5 P
- 補正予算の概要…… 6 P
- 一般質問…… 7 P～19 P
- 常任委員会視察報告…… 20 P

第69回 扶桑町民体育祭 みんなでジャンプ!

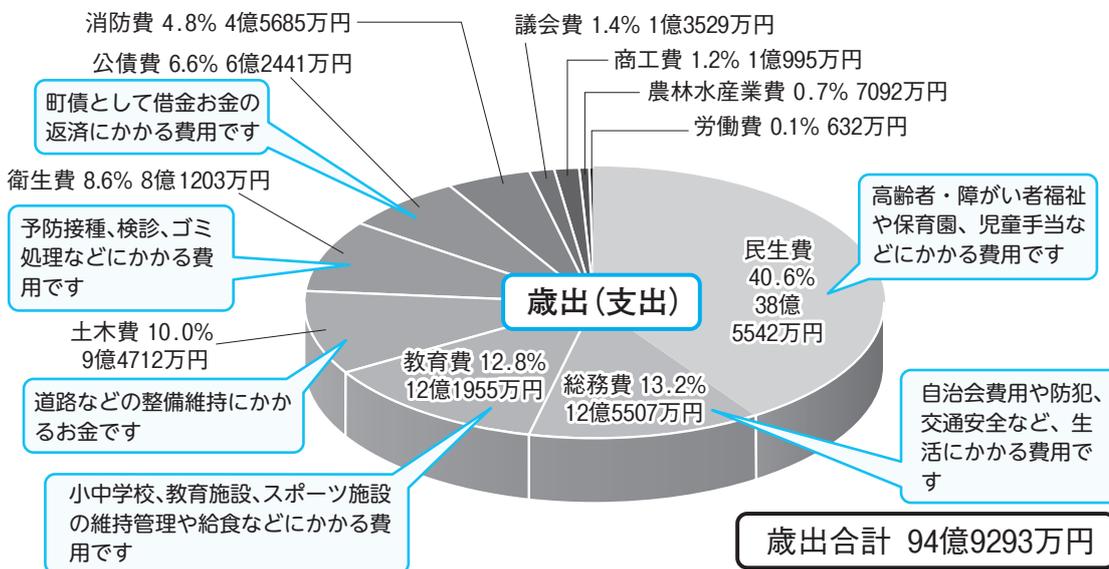
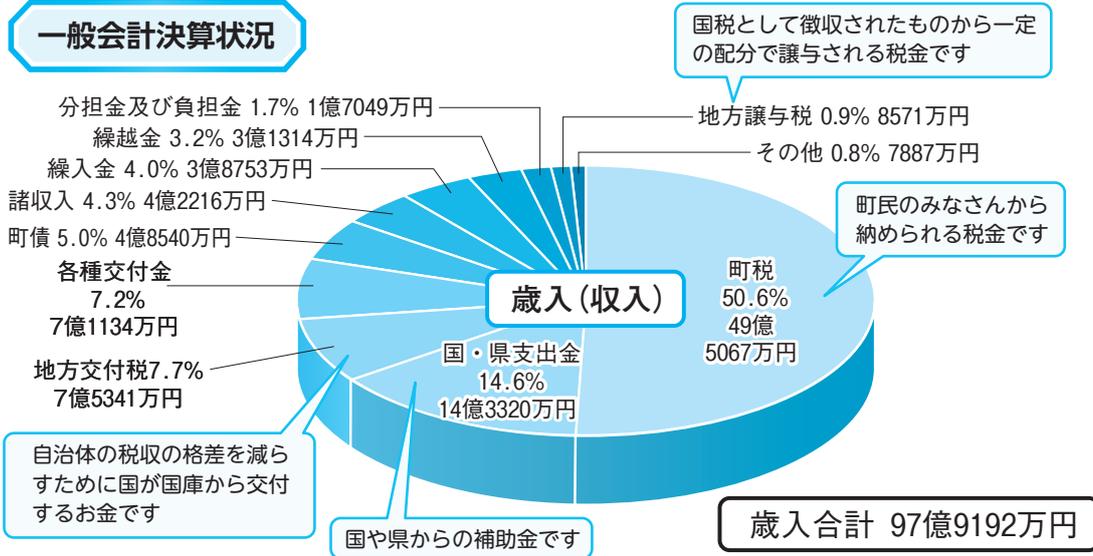
発行/扶桑町議会 編集/議会だより編集特別委員会

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330 TEL: 0587-93-1111 FAX: 0587-92-1381 E-mail: gikai_sc@town.fuso.lg.jp 発行日/平成30年12月1日

環境保護のため再生紙を使用しています。UD FONT

決算を認定

一般会計決算状況



(※金額の表記は、万円未満四捨五入のため実数値と差異が生じます。)

平成30年8月31日から9月27日まで9月定例会が開催されました。今回の定例会では、平成29年度一般会計を始めとして各特別会計の決算認定案が提出され、審議の結果、全会計とも原案どおり認定しました。

反対討論

山名保育園0歳児保育実
施、放課後児童クラブ専用
棟の実施設計、児童館建設
の基本設計、柏森小学校の
エアコン設置実施設計、商
品券発行への補助継続、環
境にやさしい住宅改善への
補助継続などは積極的に評
価するが、住民の暮らしを
守るという点で、問題点が
あった。アベノミクスによ
り格差が拡大し、消費不況
が続く中、年金支給額の減
額、生活保護費の引き下げ、
介護保険の大改悪、医療費
の自己負担引き上げなど、
住民の生活は一層厳しさを
増す中、巡回バス運行の取
り組み、子育て支援など住
民の願いに応えていない。
住民合意もなく進める新ご
み処理施設や住民の不安に
対する解決策を示さない新
愛岐大橋架橋。41号線沿い
の都市計画案が見直された
が、大型商業施設の誘致よ
りも地域の商店街を支援す
る考え方に立ち行政を進め
るよう、また地方税滞納整
理機構に来年度から職員派
遣をしないよう強く求め反
対する。

平成29年度

平成29年度会計別決算状況 (万円未満四捨五入)

会計区分	歳入金額	歳出金額	差引金額	
一般会計	97億9192万円	94億9293万円	2億9899万円	
特別会計	土地取得	431万円	190万円	241万円
	国民健康保険	37億8796万円	34億6456万円	3億2340万円
	公共下水道事業	7億7635万円	7億7495万円	140万円
	介護保険	22億9330万円	21億3824万円	1億5506万円
	後期高齢者医療	4億8179万円	4億8054万円	125万円

決算の概要

平成29年度決算総額は、前年度より歳入で764万円(△0.04%)減少し、171億3563万円、歳出で8749万円(△0.53%)減少し、163億5311万円となりました。一般会計は、前年度より歳入で1億5627万円(△1.6%)減少し、歳出で1億4212万円(△1.5%)減少しました。歳入の根幹をなす地方税は、平成28年度を2.0%上回った。うち町民税において、所得割が2.4%、法人税割が8.9%増加したことにより、3.4%の増加となった。固定資産税は1.4%の増加となった。また、地方消費税交付金等各種交付金、繰入金等が増加した一方、国庫支出金、繰越金、地方債等が減少した。

歳出では、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)は、平成28年度を2.2%上回った。また、普通建設事業費の歳出総額に占める

割合は5.2%で平成28年度(7.4%)を2.2ポイント下回った。

扶桑町の財政状況

財政構造の弾力性を判断する指標として使われる経常収支比率は92.1%で、平成28年度(90.5%)を1.6ポイント上回っている。全国町村平均(平成28年度86.1%)と比べても高い率となっているため注意が必要である。

歳入総額に占める自主財源割合は、64.6%となり、平成28年度(61.8%)より2.8ポイント上回った。「財政健全化の判断比率」は特に問題なく、決算の赤字・赤字を判断する「実質収支額」は、3億140万円の黒字となった。

賛成討論

平成29年度の実質収支額は2億9899万5千円で、財政運営は赤字で、良好と判断される。農業振興、産業振興などの経済対策事業や道路整備事業、交通安全対策事業。そして青木川など治水対策事業並びに放課後児童クラブ専用棟の実施設計など子育て支援の充実。介護予防、日常生活支援総合事業の開始に伴う介護予防、生活介護サービス及び一般介護予防事業など高齢者福祉施策の実施。柏森小学校のエアコン設置実施設計、スクールソーシャルワーカー派遣事業などの教育施策を着実に実施されたと評価する。決算並びに基金運用状況審査意見書においても、おおむね適正であると認められている。限られた財源を計画的に適材適所に配分できるように今後の事業遂行に努めていただくことを申し添え賛成する。

こんなことを聞きました

総務建設常任委員会

一般会計歳入歳出決算

総務課の関係

問 自治振興費として1世帯当たり2850円交付されているが基準があれば教えてほしい。

答 資源ゴミ・不燃ゴミ分別収集事業で910円、地域自治活動事業で1115円、地域敬老事業費として240円、女性消防クラブ活動事業として95円、地域スポーツ振興事業として490円である。

税務課の関係

問 滞納整理機構に引き継ぐ基準はどうか。

答 おおむね本税50万円以上で、非常に困難な案件を引き継いでいる。

産業環境課の関係

問 中小企業振興費補助金、創業融資保証料助成金、創業融資利子助成金などと新規事業としてあげているが、若干利用が少ないと思うがどうか。

答 各事業者へなかなか浸透しなかったように思う。今後において、新制度について、再度周知を図り広く活用していただくよう考えている。

いて、新制度について、再度周知を図り広く活用していただくよう考えている。

土木課の関係

問 集落内における郷内道路の側溝には、かなりの量の泥土が堆積している箇所があり、中には溝蓋が重くて危険な箇所もあるがその対応等は。

答 地区要望と個人要望を勘案して随時、機械浚渫にて対応している。

土地取得特別会計歳入歳出決算

問 土地開発基金の基金残高は9千万円だったと思うが、活用されている形跡がない。運用が不十分だと思うがどうか。

答 将来的に公共施設の見直しも予想されるのでそういった中で検討していきたい。

公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

問 地方公営企業法適用事業費の委託金で公営企業会計移行事業委託料だが、独立採算制が適用されるかどうか。

答 本町の場合は、まだそこまでの段階には行かないと考えている。

福祉文教常任委員会

一般会計歳入歳出決算

住民課の関係

問 交通災害共済が、平成31年度から無くなるが、町で代わって行えないか。

答 単独で行う場合、2・3年で赤字になる試算となり難しい。

介護健康課の関係

問 産後ケアの相談、出産して1週間、病院から帰ってからの1ヶ月が大事である。産後ケアの今後の事業展開は。

答 平成29年から産後1回健診のクーポンを配布している。2回にしてほしいという要望もある。新生児全戸訪問を4ヶ月までに2回実施している。相談事業等は検討中である。

福祉児童課の関係

問 待機児童が16名、柏森の保育園が駅に近いということもあり、整備が必要ではないか。

答 来年度は斎藤保育園で、2歳児を12名受け入れる。柏森地区での0歳児の保育をしてほしいという希望がある。

現存の施設の範囲内で何か工夫をして、受け入れていかなければならないと考える。

国民健康保険特別会計歳入歳出決算

国民健康保険特別会計

問 決算からすれば、国保税の引き下げ、減免の拡充ができたのでは。

答 平成29年度からの制度改正により、町独自の激変緩和措置を行った税率で運営し、繰越金により調整している。

近隣市町の動向を注視しているが、現時点では、具体的に減免制度を改正することは考えていない。

介護保険特別会計歳入歳出決算

問 徘徊高齢者家族支援事業において、利用が少ないが、徘徊対策として何か他にないか。

答 位置情報を検索する装置を貸し出している。

情報を読み取るQRコードを衣服等に貼りつけることで、捜索に生かせるシステムがあり、近隣市町の導入状況を踏まえ研究していきたい。

決まりました！主な議案

平成30年第6回(9月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

○全員賛成で原案可決した案件

議案・・・11件

- 平成30年度扶桑町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成30年度扶桑町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成30年度扶桑町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成30年度扶桑町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 扶桑町放課後児童クラブ館設置及び管理に関する条例の制定について
- 扶桑町手数料条例の一部を改正する条例について
- 工事請負契約の締結について(雨水貯留施設整備工事)
- 工事請負契約の締結について(扶桑町図書館冷暖房設備改修工事)
- 工事請負契約の締結について(公共下水道汚水幹線工事)
- 平成30年度扶桑町一般会計補正予算(第4号)

●工事請負契約の締結について(扶桑町図書館冷暖房設備改修工事変更契約)

- 承認・・・1件
- 平成29年度扶桑町土地取得特別会計歳入歳出決算
- 同意・・・1件
- 扶桑町教育委員会委員の任命(再任 加藤高周 氏)
- 請願・・・1件
- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書
- 陳情・・・3件
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書

○賛否が分かれた案件

議案等	会派・議員	議決結果	桑政クラブ												日共産党	公明党	農民党			
			市橋茂機	大河原光雄	兼松伸行	小室輝義	近藤五四生	近藤泰樹	澤田憲宏	杉浦敏男	千田勝文	千田利明	丹羽友樹	和田佳活	小林明	高木義道	佐藤智恵子	矢嶋恵美		
◆議案																				
第45号	平成30年度扶桑町一般会計補正予算(第3号)	可決	-	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●※	●	○	○
◆承認																				
第1号	平成29年度扶桑町一般会計歳入歳出決算	認定	-	○	○	○	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	●※	●	○	○
3	平成29年度扶桑町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	-	○	○	○	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●※	○	○
4	平成29年度扶桑町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	
5	平成29年度扶桑町介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	-	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●※	○	○
6	平成29年度扶桑町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	-	○	○	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●※	○	○
◆陳情																				
陳情	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書	不採択	-	●※	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○※	●	●	

賛否状況 ○：賛成 ●：反対 △：採決時退席 -：議長は採決に加わらない。 ※：討論者

可決した意見書

- **定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書**
(提出先) 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣 内閣官房長官
- **国の私学助成の拡充に関する意見書**
(提出先) 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣
- **愛知県の私学助成の拡充に関する意見書**
(提出先) 愛知県知事
- **臓器移植の環境整備を求める意見書**
(提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣

★ 意見書の全文は、扶桑町ホームページ(扶桑町議会)に掲載しています。 ★



31年度開館する山名放課後児童クラブ館

条例の主な内容

- ▶ **扶桑町放課後児童クラブ館設置及び管理に関する条例**
平成31年度に開館する放課後児童クラブ館の設置及び管理に関して規定します。
- ▶ **扶桑町手数料条例の一部を改正する条例**
放課後児童クラブの長期休暇開設日に、入学前から学校給食開始前までを追加することに伴う改正です。

補正予算等の概要

一般会計補正予算(3号)

歳入歳出それぞれ3億1,270万円を追加し、総額109億6757万円と なっています。主な内容は、次のとおりです。

歳入(万円未満切り捨て)

普通交付税 1億5044万円

基準財政需要額が見込みよりも多かったことなどによる増額で、普通交付税予算額は7億6144万円となります。

歳出(万円未満切り捨て)

公共施設建設基金積立金 1億7282万円

多機能児童館建設に備えます。

ブロック塀等撤去費補助金 200万円

20万円の10件分を計上します。

庁舎南側塀撤去新設工事 603万円

児童館建設に伴い、扶桑中学校の受水槽を新設し、井水タンクを移設します。防球ネット設置工事 321万円

地震対策として庁舎南側塀をフェンスに改修します。プール擁壁等撤去工事 551万円

・プール擁壁及びプロパン庫撤去 高雄小 86万円

・プール擁壁の撤去及び目隠しフェンス設置 扶桑東小 853万円

・プール擁壁の撤去及び目隠しフェンス設置 扶桑中 473万円

・プール擁壁の撤去及び目隠しフェンス設置 扶桑北中 211万円

・体育館内壁の浮き及び欠損改修 エアコン設計委託料 337万円



高尾小学校エアコン設置工事の設計を行います。

受水槽新設及び井水タンク移設工事 1580万円

児童館整備事業費 1391万円

建設予定地の樹木・用務員棟・受水槽等の撤去工事及び保健センター北側用地に駐車場を整備します。

町内学習等共用施設塀撤去等工事 437万円

町内学習等共用施設の塀及びプロパン庫の撤去等を行います。

浄化槽改修工事 277万円

文化会館の浄化槽の水中プロワ交換及び配管劣化による改修を行います。

工事請負契約の締結

雨水貯留施設整備工事

請負金額 8175万円

完了年月日 平成31年3月25日

請負契約者 吉永建設工業株式会社

11名の制限付一般競争入札工事の概要

町道307号線ほか1路線の下に、雨水浸水被害軽減のため、約294mの貯留施設を設置を行います。

扶桑町図書館冷暖房設備改修工事

請負金額 5184万円

完了年月日 平成31年3月14日

請負契約者 日本空調サービス株式会社

契約の方法 2名の制限付一般競争入札工事の概要

開架室始め1階2階合わせて35台のエアコンの設置工事を行います。

扶桑町図書館冷暖房設備改修工事(変更)

元請負代金に対する増額 295万円

請負契約者 平成31年3月8日

吉永建設工業株式会社

9名の制限付一般競争入札

一般会計補正予算(4号)

歳入歳出それぞれ891万円を追加し、総額109億7649万円となっています。主な内容は、都市公園維持管理費及び予備費です。

8月臨時会を開催

平成30年8月10日(金)に、臨時会を開催し、資材購入契約の締結1案件の審議を行いました。

資材購入変更契約の締結

(仮称)高尾・山名・扶桑東放課後児童クラブ専用棟用構造軸組材数量変更による増額 9万2638円

契約者 設楽森林組合



(仮称)扶桑東放課後児童クラブ専用棟



桑政クラブ
杉浦敏男 議員

地域包括ケアシステムの充実

答 課題解決に向けて取り組んでいく

問 地域包括ケアシステムの充実とは。

答 充実へ向けた取り組みとして新たに立ち上げた「在宅医療介護連携推進会議」、「生活支援体制整備推進会議」、「介護予防・健康づくり推進会議」と継続して実施する「地域ケア会議」の4つの組織を中心に、課題解決に向けた意見交換を行い、取り組んでいく。

問 高齢者が地域で自立した生活をするには、入院、退院、在宅生活を通じて医療・介護サービスが受けられるように、連携強化が必要になるが。

答 今年度より実施している在宅医療・介護連携推進会議において、医師、歯科医師、薬剤師、介護保険事業所、江南保健所、尾北医師会の関係者に出席いただき、連携強化を図っている。

問 入所希望者の多い、介護拠点の状況は。

答 町内の特別養護老人

ホームは町外、町内の方も利用ができる扶桑苑、町内の方の利用となる、結いの郷があり、入所定員は扶桑苑が84名、結いの郷が29名で合計113名の入所定員となる。

入所待機者については、扶桑苑では23名の内、扶桑町内の方が10名、結いの郷で44名となっている。

認知症施策の推進は

問 認知症高齢者の現状は。

答 認知症高齢者の日常生活自立度においてランクⅡの判定基準が「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」とされている。介護認定を受けている方のうち、951人の方がランクⅡ以上の症状がある。6月末現在の介護認定者が1296人で、日常生活に支障をきたす症状等が多少見られる方が約73%である。

問 新たな視点で早期に認知症の鑑別診断、認知症ケアパス等、状態に応じた適切なサービス提供を構築する、「認知症初期集中支援チーム」の取り組みは。

答 支援チームとして認知症サポート医1名と包括支援センターの保健師、看護師、社会福祉士の専門職により構成している。現在の支援件数は1件、

ケース検討件数は、6件となっている。

問 認知症地域支援推進員の配置は。

答 地域包括支援センターに配置している。現在の取り組み状況は、認知症サポーター養成講座の実施支援、認知症力フェの実施支援、あんしんガイドブック（認知症ケアパス）の配布等行っている。



ブロック塀の対策について



桑政クラブ
近藤五四生 議員

答 撤去費補助の活用を周知する

問 公共施設について、大阪北部での震災後速やかに施設の安全点検をされたがどのように実施されたか。

答 所管課に対し、人的被害が発生しそうな危険個所がないか、目視と建築士の資格保有者と協議しながら点検した。

問 町職員が町内全域を調査されたと聞いたが、調査結果を踏まえ、倒壊の恐れのあるブロック塀の対策は。



地震対策として塀をフェンスに取替（役場庁舎南側）

答 対象となるブロック塀等の所有者の方には撤去費の補助を活用していただき、できる限り多くの方に対策を講じていただく。また、国県の動向にも注視し、適切な対応をしていく。

問 災害時に学校における児童生徒の安全対策は。

答 小中学校には防災マニュアルが作成されており、教職員は役割に従って児童生徒の安全を確保している。

問 教職員や児童の安全を図るための防災教育は。

答 学校安全計画が作成され計画的に防災教育を進めている。

また、防災ガイドブックを活用し、身を守る訓練をしている。

問 災害時に一人住まいの高齢者や障害者の方の安全対策は。

答 一人暮らしの老人、高齢者世帯、介護認定者や障害のある方を「避難行動要支援者名簿」で把握し、自主防災会、自治会、民生委員に配布し、災害発生時には地域の力をお借りし安全確保をしていく。

問 学校における熱中症対策

問 学校における熱中症対策で熱中症指数計を使っているが、どのように使用されているか。

答 熱中症指数計は朝、放課前、部活動前や屋外で活動する前に運動場で計測し、危険を示す数値に達した場合は、屋外の活動を中止し事故を防止している。

問 体育授業の影響は。

答 児童生徒の安全確保のため屋外での活動を中止することがあったが、体育館での活動や保健の授業を教室で行うなどして体育授業への影響はない。

問 児童生徒の健康状態の把握は。

答 授業開始前に健康観察をし、水筒の有無を確認するなど健康状態を把握している。

下校時においても、こまめな水分補給を指導し安全に努めている。

問 屋外の部活動はどのようにしているか。

答 夏季休業中の中学校の部活動については、例年8時30分から活動していたが、今年度は7時30分より実施し、例年より1時間早く終了した。



国民民主党
矢嶋恵美 議員

熱中症対策で公共施設に クールスポット設置の考えは

答 公共施設は、熱中症予防に活用できる
クールスポットと考える



環境省が作成したマニュアル

問 日常生活における熱中症対策の予防や対処法などについて訊く。本町の救急搬送された熱中症の発生状況は。

答 本年6月から約2か月間の救急搬送状況は、屋内15件、屋外9件、合計24件で、内高齢者が11件、全体の45・8%である。

問 発生率の高い高齢者の熱中症対策が必要と思うが訪問活動、広報活動、イベントによる注意喚起の取り組みは。

答 民生委員の方を中心に高齢者へチラシ配布し訪問活動をしている。また、広報活動は、「環境省熱中症予防サイト」の活用は現在当町では行っていないが、早速実施する。

問 来年以降、学習等供用施設のクールスポットとしての利用の考えは。

答 来年度以降、空き部屋活用の一つの方法として利用を促していく。学習等供用施設は個人地域住民の活用もできる。

問 エアコンは生活の必需品である。学校のエアコン設置の検討や国の施策で生活保護世帯のエアコン設置も始まった。低所得の高齢者世帯などへのエアコン設置補助の考えは。

答 生活必需品と考えるが、現段階での設置補助は難しい。

問 「環境にやさしい住宅促進リフォーム補助」がある。エアコン買い替え時の活用への呼びかけは。

答 今後、制度を住民に十分に周知していく。

地域公共交通は

問 地域公共交通政策の捉え方とこれまでの検討進捗状況は。

答 ここ十数年社会の状況や考え方の変化もあり、この地域に合った公共交通政策は必要と考え現在検討中である。進捗状況は、豊明市乗り合い送迎サービスを視察し、本年

10月には長野県内の視察も計画している。今後、中部運輸局の来町も予定し情報共有する。

問 本町の地域公共交通の課題は。

答 住民がどこに移動したいか、高齢者対策か、住民全体の公共交通か、近隣市町の連携は、など様々である。後発の検討で費用対効果の構築も課題である。

問 「地域公共交通網形成計画」の策定と今後の進め方は。

答 計画を作ることが目的でなく課題を整理し順に検討していく中で計画策定、実施の流れができてくる。

問 公共交通の整備は時間がかかり担当者が変わる時など懸念するがどうか。

答 今後の当町のあるべき姿と認識して進めていく。



公明党
佐藤智恵子 議員

中学校のエアコン設置計画は

答 国・県・近隣市町の動向を注視し
対処する

児童・生徒の安全・健康を
守るための対策

問 今夏の猛暑を受け、
近隣市町の小・中学校の
エアコン設置対応は。

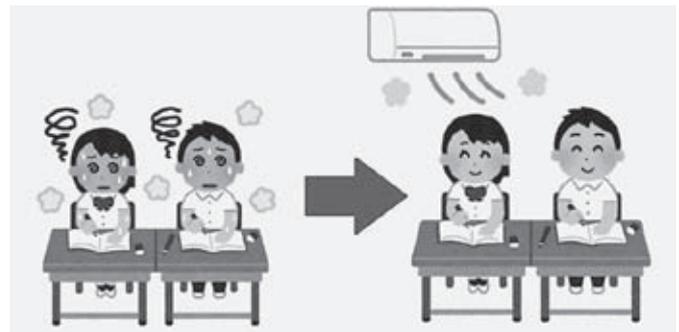
答 犬山市は来年度全
小・中学校の工事予定、
文科省学校施設環境改善
交付金が交付されなくて
も工事を行う。

江南市は来年度全小学
校、再来年度全中学校工
事予定、国からの交付金
がない場合は今後検討す
る。

岩倉市は来年度全中学
校、再来年度全小学校を
工事予定、国からの交付
金がない場合は今後検討
する。

問 扶桑町では、来年扶
桑東、高雄小学校につい
ては同時に工事予定だが、
中学校はエアコン設置の
明確な計画がない、どう
認識しているか。

答 早急な対応が必要な
ことと理解している。今
後、国・県・近隣市町の



問 動向を注視し対処する。
近年、通学カバン等
の荷物の重量化をどう認
識しているか。

答 教科や時間数が増え
ていることが要因だと考
える。今後も定期的に各
教科担当、学年、学校で
持ち物について協議し、
荷物軽減に努める。

防災対策

問 避難行動要支援者名
簿登録者の「個別計画」
はあるか。

答 個別の支援プランと
なる「避難行動要支援者
カード」を作成している。

誰が支援することに
なっても情報を踏まえた
支援が行なえるものと
なっている。

問 これまでも、より実
践的な防災訓練を要望し
てきたが、その後進展は
あったか。

答 住民自らがとるべき
行動の知識・技術を取得
するための訓練をより多
くの方に実施して頂く必
要があると考える。今後
は自助・共助の重要性の
再確認、防災意識の高揚
が図れるような訓練を、
地域や関係団体とも調整
し検討する。

問 災害時に有効な「液
体ミルク」の備蓄、また
オストメイト（人工肛
門・人工膀胱）の方の排
せつ装置、ストマの備蓄

ができないか。

答 液体ミルクについて
は、国内販売開始の状況
を見ながら検討する。ス
トマについては、場所を
選定し、保管できる方法
を検討する。

骨髄バンクドナー支援

問 骨髄バンク事業は、
「移植に用いる造血幹細
胞の適切な提供の推進に
関する法律」に基づく公
的事業だ。ドナーの負担
を減らし、骨髄提供しや
すくする環境を整えるた
めにも助成制度の導入が
できないか。

答 制度のあり方や内容
について調査・研究する。



桑政クラブ
和田佳活 議員

「ふそう土曜教室」の課題は

【答】長期休業中の実施及び定員の増員を検討する必要がある

問 介護支援ボランティア制度は

答 介護支援ボランティア活動の実績に応じてポイントが得られ、申請によってポイントに応じた付金が交付される「介護支援ボランティア制度」導入の問題点は、

答 ①介護ボランティアを実施する方の登録、介護ポイント確認のための手帳の交付、評価のポイントを付与するための評価基準の策定、管理団体の選定と理解。

②ボランティアを受け入れていただく活動先の指定、活動先がどのくらいあるのかの調査、指定の基準を定めること。

③住民の方の理解と登録者の確保、おおむね三点の問題があると考えます。

問 制度実施についての考えは。

答 課題を解決するためには、かなりのマンパワーが必要である。継続し調査研究を進めていく。

学力向上支援事業は

問 全国学力・学習状況調査の評価と対策は。

答 小学生3教科は全国レベルと同程度、中学校国語は全国レベル同程度、数学・理科は全国レベルを上回る。結果の情報を共有し、今後の学習に生かしていきけるよう指導改善の手立てを検討する。学習状況調査の対策として、自尊心・自己肯定感を高める教育を進めたい。

問 「ふそう土曜教室」の実績と評価は。

答 平成29年度、参加児童88人、年間18回実施。算数が分かるようになった児童74%、算数の学習に成果があったという保護者71%、児童・保護者とも好評である。

問 課題と今後の方向性は。

答 長期休業日には現在実施していないので、長期休業中も実施すること。定員を上回る希望者があ

る。児童5〜6人に対して、1人の指導員である。指導員の確保に努め、対象児童の定員増員を検討する必要がある。

問 「朝読書」の現状分析と今後の方針は。

答 授業開始前の10分から20分程度を利用し、週に3日から5日ほど実施している。学習指導だけではなく生活指導上、効果があると考え、継続し

ていく。

問 より高い学力向上のための方策は。

答 落ち着いた雰囲気の中で、集中して授業を受けること、そのために少人数指導補助者や特別支援員を継続して配置していく。学校行事を始め、教室ではできない様々な活動を地域の協力を得ながら体験させ向上させた



学校内の猛暑対策を問う



桑政クラブ
小室輝義 議員

答 国や県の動向も見ながら対処したい

問 サマータイムについてどう考えるか。
答 賛成反対の両論がある。政府としても何も決定していない。今後の動向を注視したい。
問 クールシェアの導入についてどう考えるか。
答 個人で活用できる施設もあるので対応してもらいたい。高齢者については配慮し検討していく。
問 中学校へのエアコン設置の見通しは。
答 現在高雄小学校のエアコンの実施設計を補正でお願いしている。中学校についても早急な対応が必要と理解している。今後、国、県、近隣市町の動向を見ながら対処していく。

午に35度を超える予報が出た時は中止にした。その結果、13回開放する予定だったが4回の実施に留まった。
問 猛暑対策のマニユアルづくりや教員の研修が必要では。
答 猛暑対策のマニユアルづくりは特に予定していない。猛暑についての研修も予定はしていないが、職員会議などを活用して教職員全体で共通理解を図っている。
夏休み明けの生徒の指導
問 教員の負担軽減の取り組みは進んでいるか。
答 負担軽減は継続的に進めている。是正に向けた在校時間の管理、定時退校日の設定、部活動休養日の設定、夜間の留守番電話対応など行っている。
問 夏休み明けの教員の負担は大きいと聞くが。
答 休み明けは、各教科

の宿題点検、応募作品の処理で多くの時間が費やされている。また集団生活での約束づくりやルールの定着に時間がかかり、教員の負担は大きいと考える。
問 この時期、不登校・非行・自殺など心配な時期であるが対策は。
答 夏休み中でも支援が必要な児童生徒については家庭との連絡を密にしている。また、適応指導教室、児童相談所、警察等外部機関と情報を共有し、連携して指導を進めている。

問 SNSや外部の相談窓口の活用は。
答 教育相談活動は非常に重要と考えている。児童生徒や保護者からの申し出のあった時だけでなく、定期的に教育相談を実施している。SNSの活用は現在していないが、今後の検討課題にしたい。
問 部活動指導者の増員が必要ではないか。
答 部活動指導は教員の長時間勤務の主な要因とされている。現在5人の外部指導者を配置しているが、今後とも指導力のある外部指導者を確保していきたい。



環境省ホームページより

今後の地方創生推進交付金の活用は



桑政クラブ
澤田憲宏 議員

答 先駆性要素を意識した取り組みを検討

問 本町の総合戦略に掲げた基本目標の状況は。

答 29本の施策の中で現時点で8事業がKPI（重要業績評価指標）を達成している。

問 特筆すべき実績は。

答 食物アレルギーに対する学校給食個別対応事業がある。KPIは平成29年度実績において食物アレルギー除去食提供数1098食に対し1274食、食物アレルギー代替食提供数337食に対し440食であり、目標を大きく上回っている。

問 地方創生関係交付金等の活用は。

答 平成27年度に地方創生先行型交付金2167万3千円を受け、出産不安解消事業、住宅リフォーム法定住促進事業、医療的ケア支援事業に活用した。また、消費喚起・生活支援型交付金2804万5千円を受け、プレミアム付商品券発行事業、遺児手当受給者生

活支援事業に活用した。

問 今後の取り組みは。

答 現在に至るまで国の交付金対象となる新規事業がなく、活用の実績がない。平成31年度の期間満了後も基本目標に位置付けられた事業については継続して取り組む必要がある。対象となる事業は、自立性、官民連携、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の育成・確保の6つの先駆性要素が重要とされている。第5次総合計画を推進するにあたり検討していく。

問 空家対策

答 本町の空家の現状は、平成29年度実績で302件、空家率は約2%となる。

問 空家対策協議会の設立時期及び計画作成は。

答 10月ごろの設立に向けて準備を進めている。空家対策計画の作成も今年度中の作成を予定して

いる。

問 空家の所有者への通知は。

答 相談や苦情のあった空家は、適正管理をお願いする文書で通知している。

問 ふるさと納税の返礼品として空家管理サービス導入は。

答 近隣市での実績としては、平成29年度に犬山市が10件、江南市が1件、岩倉市が今年度8月より開始している。扶桑町でも所有者が町外在住の空家は約100件あり、検

討していきたい。

問 空家の相談、支援制度などの検討は。

答 相談に関しては、継続の問題や不動産売買など専門的知識を必要とする。そのため、協議会委員となつていただく愛知県宅地建物取引業協会、愛知県司法書士会などと協力し、住民が相談できる体制づくりを検討する。支援制度については、空家所有者への情報提供や利活用のための流通促進の支援などを検討する。



ふるさと寄付金の状況と認識は



桑政クラブ
大河原光雄 議員

答 制度が町の知名度向上に寄与している

問 昨年7月より返礼品の提供で開始した本町のふるさと寄付金の受け入れ状況と認識は。

答 昨年度寄せられたふるさと寄付金は、154件873万円であった。寄付をきっかけに、養蚕にゆかりのある町だと知った方もあり、制度が町の知名度向上に寄与している。

問 ご寄附頂いた方の居住地の割合は。

答 扶桑町在住の方からの寄付が12件、扶桑町を除く愛知県在住の方による寄付が29件、愛知県外に在住の方による寄付が113件で、東京都からの寄付が一番多く、51件であった。

問 使途の希望の多い事業と活用状況は。

答 寄付金額では、「子どもの教育に関する事業」を指定する寄付者が一番多く、続いて使途を指定しない「その他町長が必要と認める事業」と

なっており、基本的に既存の事業に充当しているが、中にはふるさと寄付によって実施する事業もある。

問 本町での返礼品の選定はどのようにしているか。

答 返礼品は、町内に事業所がある企業から事業者の協力を得て、ふるさと寄付金の趣旨に沿った品を選定している。今後、も事業者と協力しながら、本町の魅力を発信できるような返礼品の選定を行っていく。

問 返礼品として、伝統芸能の公演等での「文化会館の観劇券」の考えは。

答 出演者に承諾を得てから返礼品として選定している。実績はないが、継続して採用していく。

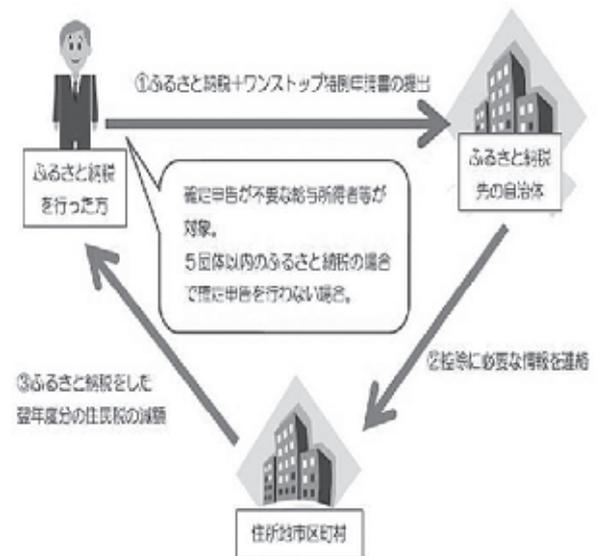
問 金銭的な価値のある返礼品だけでなく、空き家も含めた草刈、墓の掃除、家族の安否確認等、寄付される方にとって価値のあるサービスの提供

を本町でも検討してはどうか。

答 事業者とも相談し、実施に向けて検討する。

問 特徴のある特産物をもつ自治体は非常に活用しやすく利点の多いふるさと納税であるが、一方で特色のない自治体は活用が難しく、他の自治体へのふるさと納税により町民のお金が流れ出ていってしまう。本町の税収への影響額は。

答 昨年の寄付納入額から、町外へ流出した町民



税相当金額及び、ふるさと寄付推進に掛かった経費を差し引くと、約3100万円の税収減である。

問 特色の少ない本町には、「扶桑町ブランド」などで地域力を高め、地域に密着した事業に限定した投資の考えなど、自治体自ら稼ぐ姿勢が必要ではないかと考えるが。

答 今後は町民や職員の見度も取り入れながら、扶桑町の収入を増やす方法について検討していく。



桑政クラブ
千田利明 議員

高齢者や子供たちへ学供施設 の環境整備を

答 適正設備の配慮に努めて行きたい

問 学習等供用施設の施設利用における基本的な考えは。

答 町民が学習、保育、休養、集会等福祉の増進を図ることを目的として利用するものと考えている。

問 平成31年4月以降、放課後児童クラブの各小学校へ移動後の施設管理規則の変更や運用は。

答 現状、空き部屋がでさる状況が考えられる中、ヒアリングを行い住民の状況を踏まえた環境づくりに努めて行く。

問 施設の使用に人数制限はあるのか。また5人以上の団体で申し込み、当日に都合で人数が減少した場合の対応は。

答 現状、数人で利用する場合5人以上を団体利用としているが、当日人数が何人か減っても使用を断ることはない。

問 高齢者が2階の部屋を使用するには不便で、生活様式も変化しており、1階の畳部屋をフローリ

ング敷きにできないか。

答 利用形態が年齢にかかわらず、休養を目的とした部屋となっており、畳の部屋の利用が有効的であると考えているし、改修に費用もかかる。

問 勉強などに部屋を使用する子供たちのため、椅子や机など、部屋の環境面での配慮は。

答 児童や生徒が勉強や自主学習できるように施設の適正設備の配慮に努めて行きたい。

来々4月からの、放課後児童クラブの運用は

問 対象が6年生までとなり、人数が増えると予想される中、それに見合う指導員の確保は。

答 おおむね40名のクラスを一支援単位として、支援員は高雄が9名、山名が7名、扶桑東が7名、柏森が11名として行きたいと考えている。

サロン事業へ補助支援を

問 公共宅老事業と地区サロン活動への考え方は。

答 公共宅老事業は、外出の機会を少しでも増やしてもらおうと毎週1回開催し、地区サロンでは参加者による自由な発想のもと、工夫を凝らした様々な取り組みが行われている。

開催日数や活動に違いはあるが、閉じこもり予防、健康増進といった介護予防を目的とすることには、変わりがない。

問 サロン事業と地域コミュニティの連携についての考えは。

答 地域によつては連携が十分でないところもあり、町及び福祉協議会と共に、連携可能な活動につなげて行きたい。

問 サロンには教材の購入が必要で、活動に二の足を踏まれないよう補助を。

答 社協と情報交換し、町職員も参加して必要費用を検討して行きたい。



かんたん工作「みんなで七夕飾り」

本町公共施設の防犯カメラ設置は



桑政クラブ
兼松伸行 議員

答 必要に応じ関係部署と協議して進めていく



問 本町公共施設の防犯カメラの現況は。

答 公共施設の防犯カメラの現状については、図書館や総合福祉センターなどの施設や扶桑駅・柏森駅の連絡橋、木曾川扶桑公園などの公園に計47基あり、小・中学校にも設置している。

問 各公共施設に一方向でなく全方位的な防犯カメラを高い場所に設置してはどうか。

答 防犯カメラについては、必要に応じ関係部署と協議して進めていく。

街路灯(防犯灯)の設置と補助金事業

問 街路灯(防犯灯)設置の現況と新設の考えは。

答 街路灯の現況は、現在2401基を設置しておりLED化については282基11・7%となっている。新設につきましては、地区要望が53基ある。順次設置していきたい。

問 街路灯の補助金事業の対策は。

答 街路灯は扶桑町街路灯の設置及び管理に関する要綱により設置され、修繕や電気料を含む維持管理について町負担となっている。町民の方が街路灯を設置することは想定されていないので補助金事業はない。他に「扶桑町商業団体等補助金事業



補助金交付要綱」に基づき、商工会の維持管理する街路灯の電灯料の補助を行っており、共同施設事業として商工会が新設する街路灯設置に要する経費の補助金事業があるので引き続き行っていく。



日本共産党
高木義道 議員

介護保険、今年度の制度改正は

答 訪問介護の多い利用者の回数を是正する

問 介護保険制度が始まってから、制度がどんどん改正され、だんだん使いづらくなり利用の手控えも起こっている。介護の必要な人を社会全体で支える仕組みが崩れてきている。当町の状況は、支援、要介護認定者数は合計1296名。介護サービス・居宅介護（予防含む）が794名、施設介護サービスが174名、地域密着型サービスが137名である。

問 今年度の新たな改正は。

答 訪問介護サービスの生活援助について必要以上のサービスの抑制のため、訪問回数の多い利用者への対応として平成30年10月からケアプランを市町村が確認して、必要に応じて是正を促す。

問 ケアマネジャーが必要な回数を設定するが、指定の回数を超えたら報告義務が発生するか。

答 基準回数を超えるケアプランは報告義務が発生する。地域ケア会議でプランの点検を行う。必要に応じてケアマネジャーに是正を促すこともある。

巡回バスの運行は

問 コミュニティバスが走っていない市町村は少数。高齢者の移動手段としての巡回バスについての住民要望の把握は。

答 公共交通については住民ニーズ調査は実施していない。町への要望・意見として、日常の買回り、病院への通院などが高齢者からある。総合計画作成時にも個別要望が出されている。

問 まちづくりの一環として巡回バスをどのように位置づけているのか。

答 地域住民の日常、社会生活での移動、観光旅客者の移動、街づくりとして住民の移動に関して重要な位置づけをなす。人の交流、健康、低炭素



社会など住民と共に考えていかなければならない。

学校給食費の補助を

問 学校給食法で食材費は保護者の負担としているが、給食は食育であり、教育の一環。憲法では義務教育は無償としている。全国的な状況は。

答 小・中学校とも無償が76、小学校のみ4、中学校のみ2である。一部無償化、一部補助の自治体は424である。

問 近隣市町の状況は。

答 県内で無償化、一部補助の自治体は11市5町1村である。岩倉市は第3子以降が無料。大口町は半額補助である。

問 学校給食は食育であり、親御さんの負担を少しでも減らすと同時に給食費未納対策もできる。子育て支援の一環としてどう考えるか。

答 給食費補助は現状では困難。今後引き続き調査、研究していく。

公会計導入の考えは



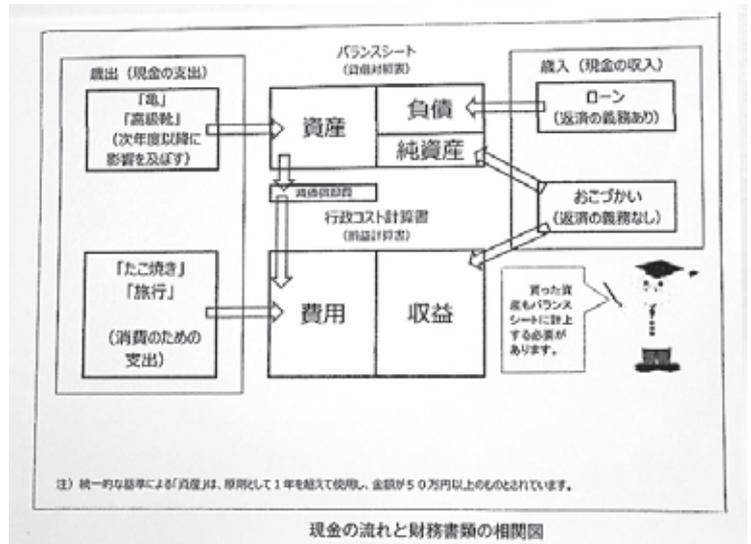
桑政クラブ
千田勝文 議員

答 国の検討、動向を注視する

問 固定資産台帳の整備は。

答 統一的な基準による整備を行っている。具体的には、勘定科目・資産の名称・取得価格・減価償却累計額・期末簿価等の情報を整備し、貸借対照表の勘定科目の金額と固定資産台帳の簿価額と一致する形になっている。

問 有形固定資産減価償却率（資産老朽化率）の



問 償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の比率を算定することで資産の経過年の程度を判断する指標となる。

問 町の資産老朽化率を算定すると61%であり、通常50%を超えると施設の老朽化対策の検討に入るべきと思うが。

答 公共施設総合管理計画に基づき、施設ごとに

問 長寿命化、複合化を検討していきたい。

問 受益者負担の割合は。

答 連結行政コスト計算書において計算すると5・1%となる。

問 前年度は6・82%となるが、下がった要因は。

答 連結対象が異なっているため、比較が困難である。

問 成年後見制度の現状は。

答 平成25年度に2件の町長申し立てをしている。

問 尾張北部権利擁護支援センターの利用状況は。

答 今年度、7月2日に小牧市、岩倉市、大口町と共同で開設した。利用状況は、電話相談1件、来所相談3件、訪問相談4件、巡回相談3件となっている。

問 活動内容は。

答 毎月第4木曜日に町総合福祉センターで開催する巡回相談を始め、電

話相談、出張相談業務、制度利用が必要な方への手続きの援助も行っている。

問 尾張北部権利擁護支援センターが法人として後見受任となる場合もある。研修事業として、11月10日、扶桑町で住民向け成年後見制度研修会を開催する。

問 成年後見制度利用促進基本計画策定の考えは。

答 尾張北部権利擁護支援センター運営協議会において基本計画策定について協議事項として取り上げられた。

今後、構成する2市2町の広域合同で策定するか、市町それぞれで策定するかなども含め、今後さらなる協議をしていく予定である。



日本共産党
小林 明 議員

中学校にもエアコン設置を

答 国の補助金確保を追求

校舎の廊下でも38度

問 今年は連日猛暑が続いた。中学校の教室の温度は。

答 扶桑中、扶桑北中とも職員室、保健室の前の廊下で7月の高い時には、扶桑中で37度、扶桑北中で38度であった。教室では測っていない。

学校環境衛生基準の望ましい温度は

問 文部科学省の学校環境衛生基準で示す温度は。

答 17度から28度。
問 その基準はどういう考えで示されているものか。

答 児童生徒、職員の健康を保護し、快適に学習する上からその基準を遵守することが望ましいという考え。

中学校のエアコン設置は急務

問 廊下でも38度。教室でももっと高い。38度は基準よりも10度も高い。

中学校へのエアコン設置は急務ではないか。

答 エアコン設置は、早急な対応が必要と考える。今後は国、県、近隣の動向を注視しながら対応したい。

問 高雄小学校は1年前倒して設置するというのに、中学校は国の補助金が付かなければやらないのか。

答 補助金確保を追求する。財政的にも考えなくてはならない。

国保税が高い原因は

国の負担金の削減

問 国民健康保険税はすごく高い。その原因は、国が負担金の負担率を下げたからだ。負担率を元に戻せば、29年度決算で負担金はどれだけ増えるか。

答 引き下げ前は、医療費の45%で、現在は医療給付費(医療費の約80%)の50%。試算すると差額は1億30万円になる。

問 国の負担率を元に戻せば、国民健康保険税は

引き下げられる。負担率を元に戻せと要求すべきと考えるが。

答 県の会議などで他の市町村と共に声を上げていく。

子どもの均等割減免制度を

問 子どもの均等割減免制度を実施する自治体が増えている。扶桑町も実施を。

答 これから考えなければと思っているが、現状では難しい。

小規模企業振興条例策定の具体的計画は

問 平成32年度に条例を提案するというが、具体的計画は。

答 中小・小規模企業者の声に根ざした条例にする。今年度末に素案をつくるため勉強会を行う。31年度に条例策定委員会を設け、条例案を作成する。



視察報告

福祉文教常任委員会

委員長 和田佳活 副委員長 兼松伸行 委員 近藤泰樹・矢嶋恵美・近藤五四生・佐藤智恵子・大河原光雄

7月18日に東京都稲城市の「介護支援ボランティア制度について」、19日に神奈川県大和市の「学力向上支援事業について」の調査研究を行いました。

「介護支援ボランティア制度」を日本で最初に制度化した街（東京都稲城市役所）



元気な65歳以上の高齢者の方に介護支援ボランティア活動をしてもらい、スタンプ帳を持ってもらう。1年間スタンプを集めてその数に応じてポイントに変え、ポイントを交付金申請すると最大5000円の交付金が口座で受け取れる制度である。活動を始める前と現在の変化について、張り合いが出てきた、健康になったと思うなど主観的健康感、また保険料抑制効果としても現れている。介護予防施策の一つとして、非常に参考にすべき事業と感じた。

自学自習を基本とする「寺子屋やまと」を実施し学力向上（神奈川県大和市役所）

全国学力・学習状況調査で19校の学力差がかなり激しい状況だったので4年前から週3回、授業終了後から17時（冬期は16時30分）まで自学自習を基本として、分からない部分があれば指導者がサポートする形で、かなりの予算を計上して「寺子屋やまと」を実施している。本町においては学力向上に向けての取組とし各学校の指導の充実、また本町が実施している「ふそう土曜教室」の充実がまず優先すべき事項と考える。



議会報告会と住民との意見交換会を予定しています。

平成31年2月9日(土)
扶桑町中央公民館



お知らせ

みなさん議会傍聴
に来てください
役場2階で住所と名前
を書きだけです



詳しくは議会事務局まで
TEL 93-1111 内線322

12月定例会の日程（予定）

12月3日(月)	開会・提案説明
12月7日(金)	一般質問
12月10日(月)	一般質問
12月11日(火)	議案質疑
12月12日(水)	福祉文教常任委員会
12月13日(木)	総務建設常任委員会
12月20日(木)	委員長報告・討論・採決・閉会

場 所：扶桑町役場 2F 議場
時 間：午前9時30分から
(日程は変更になることがあります。)

「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ
↓
扶桑町議会
↓
扶桑町議会
会議録検索システム



● 9月定例会分は、12月3日に更新を予定しています。